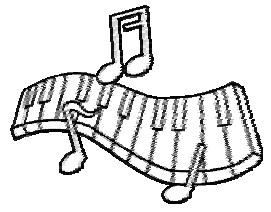


第6学年「音楽科」シラバス

6年生ではこんな学習をします



学習の目標

創造的に音楽にかかわり、音楽活動への意欲を高め、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにする態度と習慣を育てます。
音の重なりや和声の響きに重点を置いた活動を通じて、基礎的な表現の能力を高め、音楽表現の喜びを味わうようにします。
音楽の美しさを味わって聴き様々な音楽に親しむようにします。



学習の方法

学習した曲を、学校や家庭他いろいろな場で、友だちと合わせて歌ったり器楽合奏したり、目的に応じた様々な表現活動を行います。
総合的な学習と関連を持たせ広がりのある活動を行います。

学習の評価

音楽科では次の観点で評価します。
「音楽に関心をもち、創造的に活動しようとする。」
表現及び鑑賞に関する行動、発言態度等 取り組み状況の観察、演奏の聴取
「音の重なりや和声の響きを感じ取り、表現や鑑賞の仕方を工夫できる。」
表現及び鑑賞に関する行動、発言態度等 取り組み状況の観察、演奏の聴取
「響きのある声で歌い、音色の特徴を生かして楽器を演奏できる。」
表現の技能、理解等のテスト（自己・相互評価を加味）学習プリントなどの提出物等
「楽曲の構成に気をつけ、曲想を全体的に味わって聴くことができる。」
表現及び鑑賞に関する行動、発言態度等 学習プリントなどの提出

年間の学習計画

	学習する単元	学習の内容
前期	<p>1 ふしの重なり合いを味わおう</p> <ul style="list-style-type: none"> 声や音が重なり合う響きを味わって、歌ったり演奏したりすることができるようにする。 重なり合う各々の旋律の特徴を感じ取って、演奏の仕方を工夫することができるようにする。 <p>2 世界の音楽に親しもう</p> <ul style="list-style-type: none"> 旋律の特徴や響きの違いを感じ取りながら、アジアの音楽に親しむようにする。 <p>3 いろいろなひびきを味わおう</p> <ul style="list-style-type: none"> 音色や響きの特徴を味わって、想像豊かに聴いたり表現したりすることができるようにする。 全体の響きを感じ取りながら、楽器の音色を生かして演奏の仕方を工夫することができるようにする。 	<p>歌声のひびき合いを味わいながら合唱します。 楽器の響き合いを味わいながら合奏します。</p>  <p>世界のいろいろな国の音楽を聴きます。 音楽の雰囲気を感じながら演奏します。 いろいろな音楽の響きを聴き比べます。 歌と楽器が重なり合う響きを味わいながら演奏します。 楽器の組み合わせを工夫して合奏します。</p>
27時間		
後期	<p>4 重なり合う音の美しさを味わおう</p> <ul style="list-style-type: none"> 和音の響きの美しさを味わって聴いたり表現したりすることができるようにする。 三部合唱の響きを味わって歌うことができるようにする。 <p>5 曲想を感じ取るう</p> <ul style="list-style-type: none"> 曲想を感じ取って、想像豊かに聴いたり表情豊かに表現したりすることができるようにする。 曲想や歌詞の内容を生かして、表現の仕方を工夫することができるようにする。 <p>6 日本の音楽を味わおう</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本の楽器の響きや旋律の特徴を生かした音楽の美しさを味わうようにする。 <p>7 心をこめて演奏しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> 心をこめて演奏したり、気持ちを合わせて表現したりする喜びを味わうようにする。 	<p>音が重なり合う響きを味わいながら演奏します。 合唱の響きの美しさを味わいながら聴きます。 和音の響きを味わいながら合唱します。</p> <p>曲想を味わいながら聴いたり合奏したりします。 曲想を生かして合唱します。</p>  <p>楽器の響きの美しさを味わいながら、日本の音楽を聴きます。</p> <p>ひとつひとつの音を大切にしながら演奏します。 歌詞の表す気持ちを大切に歌います。</p>
23時間		